

No. 1541

矢野新体制へ

— 公明党 —

公明党の第24回全国大会が12月4日・5日、東京・九段会館で行なわれました。

20年間にわたった竹入体制から矢野体制に交代するための画期的な大会となりました。

最後のあいさつに立った竹入委員長は「党内の活性化と世代交代を推進したい」とのべました。

翌5日、満場一致で選出された矢野新委員長は『国民の期待に応えられる政治改革のたたき台としてフレッシュ、オープン、エキサイティングを、一言でいえば「フレッシュ公明党」を目指す』と表明。

50歳代の新役員に若返って開かれた公明党として「民衆の側に立ち、民衆に愛される党」となれるか今後の活動が注目されます。

トキワ荘のヒーローたち

— 東京・豊島 —

東京・豊島区立郷土資料館で11月18日から12月26日まで「トキワ荘のヒーローたち～漫画にかけた青春」の特別展が行なわれています。

これは昭和20年代から30年代にかけて漫画界の第一人者、手塚治虫を始め藤子不二雄、石の森章太郎、赤塚不二夫ら現在一流の漫画家が、若き日を過ぎた推名町5丁目にあった木造アパート「トキワ荘」での生活ぶりを復元。

会場につくられた4畳半の部屋、14号室は手塚治虫が入居し「ジャングル大帝」をかき、そのあと安孫子素雄が住んでいた状態が復元され、当時の生活ぶりが示されています。

現代の漫画家のヒーローを生み出した「トキワ荘」も建て直され、番地もかわり横丁だけが昔のまま。

12月6日にはトキワ荘の住人であった漫画家たちが資料館大会議室で区民200名を前に当時の勉強、生活、交遊ぶりを話し合いました。

そのあと会場にある思いでの14号室で当時の酒（チューダー）や缶詰で同窓会。

貧しくとも同じ志の仲間たちの陽気な青春時代の生活の展示は、現代の青少年たちに生き方のヒントを与えているようです。